

令和4年度開講科目

**大学・学科のディプロマ・ポリシーと  
授業カリキュラムマップ**

令和4年2月10日

西日本工業大学

FD委員会 池田 英広

<< 目次 >>

項目	ページ数
1. 大学	1
2. 両学部のDP（教養科目）	3
3. 工学部・総合システム工学科ポリシー	5
学部共通科目カリキュラムマップ	7
機械工学系カリキュラムマップ	8
電気情報工学系カリキュラムマップ	9
土木工学系カリキュラムマップ	10
4. デザイン学部・建築学科及び情報デザイン学科ポリシー	11
学部共通科目カリキュラムマップ	13
建築学科カリキュラムマップ	14
情報デザイン学科カリキュラムマップ	15
5. 教職に関する科目のうち、教職に関する科目	16
6. 大学院工学研究科	19

<b>西日本工業大学</b>
<b>建学の理念</b>
西日本工業大学は、「人間性に支えられた高度な工業技術者を広く学術の研鑽を通じて育成する」ことを建学の理念とし、豊かな人間性を育み、十分な基礎学力、幅広い社会・科学等の知識を持った職業人育成に重点を置き、地域・社会から信頼され、地域・社会に貢献する大学を目指している。
<b>使命・目的</b>
「工業に関する専門の学術と一般の学芸とを教授研究し、かつ、人格の形成と陶冶を図り、もって文化の向上に寄与する」ことを使命・目的としている。
<b>教育目標・方針</b>
建学の理念に沿って、「豊かな人間性の錬成と優れた工業技術者の育成」を教育目標としている。責任感、誠実さ、協調性などの徳育に重点を置いた人間性教育を基本とし、国際社会で、職場で尊敬され、頼りにされる高度技術者の育成、未知の分野に立ち向かうことのできる気力と自信を持った技術者の育成を図る。
<b>人材養成目標</b>
建学の理念に沿って、次の人材を養成することを目標としている。 1) 豊かな人間性と社会人基礎力に富む技術者 2) 自信・気力・創意工夫力に富む人材 3) 産業界を支える自立した実務型技術者・研究者・経営者・起業家 4) 地域社会、地域産業に貢献する技術者
<b>ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)</b>
所定のカリキュラムを履修し、次の資質・能力を身につけると共に、必要な単位を修めた学生に学士(工学)の学位を授与する。 1) 豊かな人間性と社会人基礎力 豊かな人間性を有し、倫理観、社会性に富む技術者、デザイナーとして、主体性をもって多様な人々と協働しながら課題や目標に取り組むことができる。【主体性・協働して学ぶ態度】 2) 創意工夫力・問題解決力 人間社会における諸問題を多面的に考え、創意工夫しながら、粘り強く課題解決に取り組むことができる。【思考・判断・表現】 3) 専門的知識・技術の活用力及び実務型技術者としての実践力 産業界を支える技術者として、ものづくりやデザインなどに関する基礎知識・実用技術などを課題解決に活用することができる。また、新たな技術を開拓・応用しながら成長していくことができる。【知識・技能】
<b>カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)</b>
カリキュラムを以下の方針に基づいて編成する。 1) 教養教育科目 豊かな人間性を有し、倫理観、社会性を育むために、主に、初年次教育、キャリア教育、一般教養教育及び専門基礎教育から成る全学共通の教養教育科目を配置する。【思考・判断・表現】【知識・技能】 2) 社会人基礎力養成科目 社会人基礎力を育むために、学生が主体性をもって協働して学ぶ能動的授業科目を配置する。【主体性・協働して学ぶ態度】 3) 専門総合教育科目 自信・気力・創意工夫力を高め、主体的な課題解決力を養うために、各学科専門科目群にゼミナール、卒業研究などの科目を配置する。【思考・判断・表現】 4) 学部共通科目・専門教育科目 産業界を支える技術者として、ものづくりやデザインなどに関する基礎知識・実用技術などを修得するために、学部共通科目群、専門教育科目群を配置する。【知識・技能】

## アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

本学は、「人を育て技術を拓く」を基本理念として掲げ、「豊かな人間性の錬成と優れた工業技術者の育成」を教育目標とし、責任感、誠実さ、協調性などの徳育に重点を置いた人間性教育を基本姿勢としています。この方針に基づき、次のような入学者を求めます。

- 1) 本学の建学の精神・教育目標、教育方針をよく理解し、基礎的学力を有する人。 【知識・技能】
- 2) 多面的な考え方や基礎的なコミュニケーションができる学修意欲に富む人。 【思考・判断・表現】
- 3) 多様な人々と協働しながら主体的にものごとに取り組むことができる人。 【主体性・協働して学ぶ態度】
- 4) それぞれの学科の目指す目標に沿った資質向上、自己の研鑽に努めることができる人。

## 両学部のディプロマポリシー（教養教育科目用）

所定のカリキュラムを履修し、次の資質・能力を身につけると共に、必要な単位を修めた学生に学士(工学)の学位を授与す

大学育成目標	教養教育科目のディプロマポリシー
1)豊かな人間性と社会人基礎力に富む技術者	<p><b>1) 豊かな人間性と社会人基礎力</b>            豊かな人間性を有し、倫理観、社会性に富む技術者、デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え、目標に向かい主体的、継続的にかつ協働して取り組むことができる。  <b>【主体性・協働して学ぶ態度】</b></p>
2)自信・気力・創意工夫力に富む人材	<p><b>2) 創意工夫力・問題解決力</b>            人間社会における諸問題の原因を追究、発見し、工業技術やデザインの仕組みを理解した上で課題解決に取り組むことができる。  <b>【思考・判断・表現】</b></p>
3)産業界を支える自立した実務型技術者・研究者・経営者・起業家	<p><b>3) 専門的知識・技術の活用力</b>            ものづくりやデザインなどに関する基礎知識・応用技術を人間社会における諸課題の解決に活用することができる。  <b>【知識・技能】</b></p>
4)地域社会，地域産業に貢献する技術者	<p><b>4) 実務型技術者としての実践力</b>            工業技術やデザインの人間社会への寄与を正しく理解し、システムやプロダクトの付加価値を高める工夫により地域社会に貢献することができる。  <b>【知識・技能】</b></p>

## 教養教育科目のポリシー

ポリシー：豊かな人間性の錬成を目指す「教養」教育

### ①基礎力の修得

大学生に求められる常識や大学生活を送る上で必要な基礎的な知識、スキルを確実に修得する。

### ②幅広い教養の修得

社会生活とは何かを理解した上で、専門性を超えた様々な分野に関しての知識や仕組み、工夫に触れることで、物事の多角的な見方・捉え方を身につける。

### ③深い教養の修得

日常によくある現象について改めて深く見詰め直すことにより、自然や社会との関係の中での人間を深く知り、豊かな人間性の涵養を図る。

### ④総合的な判断力の修得

現代社会が抱える複雑多岐に亘る諸問題を学際的・国際的な観点から眺めることにより、それらに柔軟にかつ機敏に対応できる判断力を養う。

### ⑤主体的な進路選択能力の修得

望ましい職業観や職業に関する知識や技能を身につけることにより、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を体得する。

教養教育科目			1	2	3	4		
区分	科目番号	科目名	主体	思考	知識1	知識2		
教養教育科目	基礎スキル科目	CD101	スタートアップセミナーⅠ	○	○			
		CD102	スタートアップセミナーⅡ	○	○			
		CD001	連携講座(基礎スキル)	○	○			
	総合共通科目	CE101	総合人間科学	○	○			
		CE102	総合社会科学	○	○			
		CE103	体育Ⅰ	○				
		CE104	体育Ⅱ	○				
		CE105	福岡地域学	○		○	○	
		CE110	現代社会と科学技術	○		○		
		CE106	日本国憲法	○				
		CE501	ものづくりと倫理		○	○		
		CE302	キャリアプランⅠ		○	○		
		CE303	キャリアプランⅡ		○	○		
		CE502	キャリアデザインⅠ			○	○	
		CE503	キャリアデザインⅡ			○	○	
		CE107	日本文化と社会	○				
		CE108	日本事情とビジネス	○				
		CE001	自主研究		○	○	○	
		CE002	連携講座(総合共通)		○	○	○	
		専門基礎科目	基礎系	CF101	経営学概論		○	
	CF102			情報リテラシー	○	○		
	CF301			コミュニティ論		○	○	
	CF001			COCプロジェクト	○		○	○
	語学系		CG111	英語Ⅰ	○			
			CG112	英語ⅠS	○			
			CG113	英語Ⅱ	○			
			CG114	英語ⅡS	○			
			CG306	TOEICⅠ	○			
			CG307	TOEICⅠS	○			
			CG303	TOEICⅡ	○			
			CG501	英会話Ⅰ	○			
			CG502	英会話Ⅱ	○			
			CG105	中国語Ⅰ	○			
			CG304	中国語Ⅱ	○			
CG115			韓国語	○				
CG107			日本語Ⅰ	○				
CG108			日本語Ⅱ	○				
CG109			日本語演習Ⅰ	○				
CG110			日本語演習Ⅱ	○				
CG001	連携講座(専門基礎)	○	○					

# 総合システム工学科

## 教育研究上の目的

本学の建学の理念、学部目的に基づき、総合システム工学に関する理論及び技術を教授研究し、持続可能な社会形成に寄与し、高度な専門性を修得した人材を養成することを目的とする。（学則第2条の2（1））

## 人材養成像

総合システム工学に関する理論的及び技術的知識と情報技術能力、実務的技術能力を修得し、幅広い視野を持つ総合性を備えた人間性豊かな高度専門職業人を養成する。（学則第2条の3（1））

## ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

所定のカリキュラムを履修し、次の資質・能力を身につけると共に、必要な単位を修めた学生に学士(工学)の学位を授与する。

### 1) 豊かな人間性と社会人基礎力

豊かな人間性と倫理観を有し、社会人基礎力に富む技術者として、「人と社会との関わりを幅広く理解できる能力」、「コミュニケーション力を備え、他の人との共同環境において、主体的に振る舞え、状況を判断し協働することができる能力」を修得して課題や目標に取り組むことができる。 【主体性・協働して学ぶ態度】

### 2) 創意工夫力・問題解決力

工学分野における諸課題・諸問題の解決にあたり、総合的な思考力・判断力に富む技術者として、「機械・電気情報・土木工学の分野に関する横断的な学修の成果や各専門分野の知識を発揮して思考・判断し課題・問題解決に取り組むことができる能力」、「諸課題・諸問題の提起から解決案までのプロセスを分かり易く表現してまとめることができる能力」を修得して課題解決に取り組むことができる。

### 3) 専門的知識・技術の活用能力

総合システム工学に関する基礎力と応用力に富む技術者として、「数学や現代科学に関する基礎的な知識を備え、応用できる能力」、「主たる専門分野の機械・電気情報・土木工学に関する基礎的知識を備え、応用できる能力」を修得して課題解決に活用することができる。 【知識・技能】

### 4) 実務型技術者としての実践力

実務力、情報技術活用能力に富む技術者として、総合システム工学の技術動向を継続的に学び、課題解決につなぐことができる能力を修得して自ら成長しながら産業界や地域社会に貢献することができる。 【知識・技能】

## カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

カリキュラムを以下の方針に基づいて編成する。

### 1) 教養教育科目

豊かな人間性と倫理観を有し、社会性に富んだ主体的に行動できる技術者を育成するため、基礎スキル科目、総合共通科目、専門基礎科目（基礎系・語学系）群を配置する。 【思考・判断・表現】【知識・技能】

### 2) 社会人基礎力養成科目

社会人基礎力を育むために、他の人との共同環境において主体的に振る舞え、協働して学びながら、社会人基礎力3能力「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を育む授業科目を配置する。また、産学連携プロジェクトを活用する。 【主体性・協働して学ぶ態度】

### 3) 専門総合教育科目

自信と気力に満ち、創意工夫力に富む技術者を育成するために、各年次に専門性への興味関心を高め、学習意欲を高めることができるよう、機械・電気情報・土木工学分野の導入科目と応用科目群を配置する。また、技術者としての思考力・判断力・表現力を総合的に培う専門教育科目として、ゼミナール、卒業研究を配置する。 【思考・判断・表現】

### 4) 学部共通科目・専門教育科目

総合システム工学に関する基礎知識と応用力に富む技術者を育成するために必要な科目群を配置する。1年次に自然科学の基礎科目群と専門基礎科目群、機械・電気情報・土木工学分野の横断的科目群を、2年次に主要な専門分野の基礎科目群を、3年次に応用科目群を、4年次に総合的科目群を配置する。また、実用技術・技能を修得するために、1年次、2年次、3年次に実験・実習・ものづくり演習科目群を配置する。 【知識・技能】

## アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

総合システム工学科（機械・電気情報・土木工学）は、技術社会の中核を担う豊かな人間性を有する自立した技術者の育成を目指しています。この方針に基づき、次のような入学者を求めます。

- 1) 本学の教育方針をよく理解すると共に、総合システム工学の知識・技能・技術に強い関心と興味を持ち、これを修得するために必要な基礎学力を有する人。 **【知識・技能】**
- 2) 総合システム工学と自然・社会との関わりを総合的に考えることができ、かつ周りとのコミュニケーションをとりながら学ぶことに意欲を持つ人。 **【思考・判断・表現】**
- 3) 社会人基礎力を備える技術者として、他の人との共同環境の中で活躍できるようになるために、主体的な振る舞い、協働姿勢を訓練し、それらの能力を向上させるための努力を続けることができる人。 **【主体性・協働して学ぶ態度】**
- 4) 総合システム工学科の教育課程での就学を通じて自己の資質を向上させ、生涯学習できる力や創意工夫の能力を向上させるための努力を続けることができる人。 **【思考・判断・表現】**



工学部 学部共通科目			1	2	3	4
区分	科目番号	科目名	主体	思考	知識1	知識2
学部 共通 科目	EX101	工学概説		○		
	EX115	デザイン学概説	○	○		
	EX102	工学実験		○	○	
	EX116	京築学	○			○
	EX117	データサイエンス入門	○	○	○	
	EX119	基礎数理学			○	
	EX120	基礎物理学 S			○	
	EX121	基礎物理学			○	
	EX122	物理学			○	
	EX123	線形代数学 I S			○	
	EX124	線形代数学 I			○	
	EX125	線形代数学 II S			○	
	EX126	線形代数学 II			○	
	EX127	微分積分学 I S			○	
	EX128	微分積分学 I			○	
	EX129	微分積分学 II S			○	
	EX130	微分積分学 II			○	
	EX131	データサイエンス基礎	○	○	○	
	EX303	常微分方程式			○	
	EX305	数値解析				○
	EX310	情報メディア論				○
	EX313	統計学 S			○	
	EX314	統計学			○	
	EX315	複素関数論			○	
	EX501	代数学 I			○	
	EX502	代数学 II			○	
	EX503	幾何学 I			○	
	EX504	幾何学 II			○	
	EX506	システム工学				○
	EX507	非破壊検査概論				○
	EX508	確率・統計 I			○	
	EX509	確率・統計 II			○	
	EX902	企業実習	○	○	○	○

総合システム工学科 機械工学系			1	2	3	4
区分	科目番号	科目名	主体	思考	知識 1	知識 2
専門教育科目	1M151	ものづくり演習 I		○	○	○
	1M152	ものづくり演習 II		○	○	○
	1M153	計測工学			○	
	1M154	機械工作 I			○	○
	1M155	機械工作 II			○	○
	1M156	読図			○	○
	1M158	C A D I				○
	1M159	機械系プログラミング				○
	1M160	設備保全概説			○	
	1M351	C A D II				○
	1M353	デジタルエンジニアリング				○
	1M354	材料力学 I			○	
	1M355	機械力学 I			○	
	1M357	C A E				○
	1M359	機械材料 I			○	
	1M360	機械要素 I			○	
	1M361	流体力学 I			○	
	1M362	工業熱力学 I			○	
	1M364	機械製図演習 I			○	○
	1M365	電気工学			○	
	1M366	デジタルものづくり演習	○	○	○	○
	1M367	機械保全演習 I				○
	1M368	機械保全演習 II				○
	1M369	制御工学			○	
	1M370	機械系力学 I			○	
	1M371	エルゴノミクス概論			○	
	1M552	機構学			○	
	1M553	機械材料 II			○	
	1M554	材料力学 II			○	
	1M557	機械要素 II			○	
	1M558	機械力学 II			○	
	1M561	シーケンス制御			○	
	1M562	ロボット工学			○	
	1M564	工業英語			○	○
	1M565	総合演習 I			○	○
	1M566	総合演習 II			○	○
	1M567	流体力学 II			○	
	1M568	工業熱力学 II			○	
	1M572	実践プログラミング				○
	1M573	熱・流体機械概論			○	
1M574	自動車生産技術			○		
1M575	機械製図演習 II			○	○	
1M576	電子機械工学			○		
1M577	機械工学演習			○	○	
1M578	機械系力学 II			○		
1M579	機械設計・製図			○	○	
1M580	加工技術演習			○	○	
1M581	データサイエンス			○		
1M901	総合システムゼミナール		○	○	○	
1M991	卒業研究 I		○	○	○	
1M992	卒業研究 II		○	○	○	

総合システム工学科 電気情報工学系			1	2	3	4
区分	科目 番号	科目名	主体	思考	知識1	知識2
専門 教育 科目	2E151	電子計算機概論	○	○	○	
	2E152	基礎電気回路 I		○	○	
	2E153	基礎電気回路 II		○	○	
	2E154	情報処理応用	○	○	○	
	2E155	基礎プログラミング演習		○	○	
	2E156	実践電気工学 I			○	○
	2E157	情報技術 I		○	○	○
	2E158	アルゴリズム工学	○		○	
	2E159	基礎プログラミング I				○
	2E351	情報数学		○	○	
	2E352	電気基礎実験 I	○	○	○	
	2E353	電子回路 I			○	
	2E354	メカトロニクス		○	○	
	2E355	基礎プログラミング II			○	
	2E356	電気回路 I			○	
	2E357	電気磁気学 I			○	
	2E358	エネルギー変換			○	
	2E359	コミュニケーション技術			○	
	2E360	実践電気工学 II			○	○
	2E361	実践電気工学演習 I			○	○
	2E362	情報技術 II			○	○
	2E363	電気基礎実験 II	○	○	○	
	2E364	電気電子計測			○	
	2E365	電子回路 II			○	
	2E366	制御システム工学		○	○	
	2E367	電気回路 II			○	
	2E368	電気磁気学 II			○	
	2E369	電力工学			○	
	2E370	実践電気工学演習 II			○	○
	2E371	プログラミング	○		○	
	2E372	アルゴリズム設計		○	○	
	2E373	ロボット工学		○	○	○
	2E551	電子情報通信システム I			○	
	2E552	過渡解析 I			○	○
	2E553	情報構造			○	
	2E554	パワーエレクトロニクス			○	
	2E555	高電圧工学			○	
	2E556	電気機器			○	
	2E557	電力伝送システム I			○	
	2E558	システムソフトウェア			○	
	2E559	論理設計			○	○
	2E560	コンピュータ工学	○		○	
	2E562	デジタル制御工学		○	○	○
	2E564	電気電子工学実験 I	○	○	○	○
	2E567	電気電子材料			○	
2E569	電子情報通信システム II			○		
2E570	過渡解析 II			○	○	
2E572	電力伝送システム II			○		
2E574	画像処理	○		○		
2E575	ソフトウェア工学			○		
2E576	コンピュータネットワーク			○		
2E577	人工知能		○	○	○	
2E578	電気電子工学実験 II	○	○	○	○	
2E581	データベース			○		
2E582	電力発生工学			○		
2E583	電気応用実験	○	○	○	○	
2E584	ハードウェア記述言語			○	○	
2E585	電気法規及び施設管理			○		
2E586	電気設計・製図			○	○	
2E587	知能制御工学演習 I	○	○	○	○	
2E588	情報工学演習 I	○	○	○	○	
2E589	設計技術基礎 I	○	○	○	○	
2E590	知能制御工学演習 II	○	○	○	○	
2E591	情報工学演習 II	○	○	○	○	
2E592	設計技術基礎 II	○	○	○	○	
2E991	総合システムゼミナール	○	○	○	○	
2E992	卒業研究 I	○	○	○	○	
2E993	卒業研究 II	○	○	○	○	

総合システム工学科 土木工学系						
区分	科目番号	科目名	1 主体	2 思考	3 知識1	4 知識2
専門教育科目	3C101	CGデザイン				○
	3C102	CGデザイン演習				○
	3C103	測量学			○	
	3C104	測量学演習			○	
	3C105	環境ボランティア	○			
	3C301	GIS				○
	3C306	構造工学			○	
	3C307	構造工学演習			○	
	3C308	地盤工学			○	
	3C309	地盤工学演習			○	
	3C310	コンクリート構造工学			○	
	3C312	水理学			○	
	3C313	水理学演習			○	
	3C320	土木材料学			○	
	3C321	GIS演習				○
	3C322	測量学実習			○	
	3C323	応用地盤工学			○	
	3C324	土木計画学			○	
	3C325	環境生態学			○	
	3C326	土木技術と社会				○
	3C327	データサイエンス演習			○	
	3C501	橋梁工学			○	
	3C502	道路工学			○	
	3C503	ネットワークプランニング			○	
	3C504	河川工学			○	
	3C505	水処理工学			○	
	3C506	品質管理学			○	
	3C507	環境計量学			○	
	3C509	海岸・港湾工学			○	
	3C510	廃棄物処理工学			○	
	3C511	都市計画			○	
	3C515	基礎演習Ⅱ				○
	3C551	土木工学実験Ⅰ			○	
	3C551	土木工学実験Ⅰ			○	
	3C552	土木工学実験Ⅱ			○	
	3C552	土木工学実験Ⅱ			○	
	3C553	土木工学設計				○
	3C553	土木工学設計				○
	3C554	土木施工学			○	
	3C901	総合システムゼミナール		○	○	○
3C991	卒業研究Ⅰ		○	○	○	○
3C992	卒業研究Ⅱ		○	○	○	○

## 建築学科

### 教育研究上の目的

本学の建学の理念、学部の目的に基づき、建築に関する理論及び技術を教授研究し、良好な社会環境・人間環境の形成に寄与し、高度な専門性を修得した人材を養成することを目的とする。(学則第2条の2(2))

### 人材養成像

建築に関する理論的及び技術的知識と情報技術能力、実務的技術能力を修得し、幅広い教養を備えた人間性豊かな高度専門職業人を養成する。(学則第2条の3(2))

### ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

所定のカリキュラムを履修し、次の資質・能力を身につけると共に、必要な単位を修めた学生に学士(工学)の学位を授与する。

#### 1) 豊かな人間性と社会人基礎力

豊かな人間性を有し、主体性を持って他分野の人々と協働できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を習得し課題や目標に取り組むことができる。【主体性・協働して学ぶ態度】

#### 2) 創意工夫力・問題解決力

現代的課題を多面的に考え、創意工夫しながら解決する能力を持ち課題解決に取り組むことができる。【思考・判断・表現】

#### 3) 専門的知識・技術の活用能力

建築士(1級建築士、2級建築士)の資格取得に必要な基本的知識・技能・技術を習得し、資格取得に対応できる。【知識・技能】

#### 4) 実務型技術者としての実践力

生活空間や建築、都市、環境に関する幅広い知識を身につけ、デザインに関する課題解決に活用することができる。【知識・技能】

### カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

カリキュラムを以下の方針に基づいて編成する。

#### 1) 教養教育科目

1年次から専門科目を配置すると共にデザイン全般の基礎を中心として幅広い知識と教養を身につけ、2年次から年次を追って、より専門的な知識を習得する科目を配置するとともに豊かな人間性を有し、倫理観、社会性を育むための教養科目を配置する。【思考・判断・表現】【知識・技能】

#### 2) 社会人基礎力養成科目

生活空間や建築、都市、環境をとりまく現代的課題を発見し、学生が主体性を持って協働してそれを解決するデザインとプレゼンテーションの能力を養う能動的授業科目を配置する。【主体性・協働して学ぶ態度】

#### 3) 専門総合教育科目

3年次、4年次になるに従い、ゼミ形式の少人数教育を導入し、専門領域への関心と意欲を高め、それぞれの進路に対応したより専門性の高い知識を習得する科目を配置する。【思考・判断・表現】

#### 4) 学部共通科目・専門教育科目

専門教育科目は設計演習を中核に据え、建築士(1級建築士、2級建築士)資格取得に対応できる科目を配置する。【知識・技能】

### アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

建築学は工学、技術から芸術、社会、文化に及ぶ幅広い分野にまたがる創造的、総合的学問であり、職域も極めて多岐にわたります。そのため建築学科では建築技術に関する基礎的専門知識の習得を基本に置きながら、卒業後、多方面で活躍できるよう幅広い教養と豊かな人間性と創造力を身につけた総合力のある人材を育成することを目的としています。この方針に基づき、次のような入学者を求めます。

1) 本学の建学の精神・教育目標、教育方針をよく理解し、入学後の修学に必要な基礎学力を有する人。【知識・技能】

2) 創造的なことが好きで、何かを達成するために体や手を動かすことが苦にならない人で、より確かなデザイン力を身につけたいと意欲があり、また、多くの人と協働して物事に取り組むことのできるコミュニケーション能力を持つ人。【思考・判断・表現】

3) 生活空間や建築、都市、環境に興味や関心があり、多様な人々と協働しながら主体的に学習する意欲を持ち続けることができる人。【主体性・協働して学ぶ態度】

4) 将来、社会的に影響のある仕事や生活空間を豊かにする仕事がしたいという夢を持ち、それを実現する意欲と情熱を燃やし続けることができる人。【思考・判断・表現】

## 情報デザイン学科

### 教育研究上の目的

本学の建学の理念、学部の目的に基づき、情報デザインに関する理論及び技術を教授研究し、良好な社会環境・人間環境の創造に寄与し、高度な専門性を修得した人材を養成することを目的とする。(学則第2条の2(2))

### 人材養成像

豊かな人間性と幅広い教養を備え、情報デザインに関する理論的及び技術的知識と情報技術能力、実務的技術能力を修得した高度専門職業人を養成する。(学則第2条の3(2))

### ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

所定のカリキュラムを履修し、次の資質・能力を身につけると共に、必要な単位を修めた学生に学士(工学)の学位を授与する。

#### 1) 豊かな人間性と社会人基礎力

人間性豊かでコミュニケーション能力の高いデザイナーや技術者として、主体性を持って他分野の人たちと協働して課題に取り組むことができる。【主体性・協働して学ぶ態度】

#### 2) 創意工夫力・問題解決力

社会的課題を発見し、幅広い知識と柔軟な思考でよりよい社会の実現に向けた解決策を提示することができる。【思考・判断・表現】

#### 3) 専門的知識・技術の活用力

社会の課題解決に向けて具体的な提案を的確に伝えることができる。【知識・技能】

#### 4) 実務型技術者としての実践力

社会人基礎力を身につけ、情報技術とデザイン力で地域社会や産業界に貢献することができる。【知識・技能】

### カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

カリキュラムを以下の方針に基づいて編成する。

#### 1) 教養教育科目

知識や教養、倫理観、社会性を身につけたデザイナーや技術者を育てるため、導入科目群から基礎科目群、応用科目群、教養科目群をバランスよく配置する。【思考・判断・表現】【知識・技能】

#### 2) 社会人基礎力養成科目

社会人基礎力の育成に向け学生が企業人と協働して課題解決を目指すプロジェクトなどの能動的授業科目を配置する。【主体性・協働して学ぶ態度】

#### 3) 専門総合教育科目

自信や気力にあふれ創意工夫のできるデザイナーや技術者の育成に向け、3年次、4年次と進むにつれ、より専門性の高い科目やゼミナールを配置し、4年次には少人数教育で専門領域の知識を深めるため卒業研究を配置する。【思考・判断・表現】

#### 4) 学部共通科目・専門教育科目

人間性豊かで社会に貢献できるデザイナーや技術者を育てるため、1年次は情報デザインの基礎科目や教養科目を中心に配置する。2年次に基礎的演習などでデザインやプログラミングの知識・技能・技術、プレゼンテーションに必要な表現技術を修得する科目を置く。3、4年次では卒業後も見据えてメディア&コミュニケーションデザイン、人間環境プロダクトデザイン、情報システムデザインの3分野の専門性の高い科目を配置する。【知識・技能】

### アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

情報デザイン学科は、豊かな人間性とデザインスキルを兼ね備えたデザイナーあるいは技術者の育成と輩出を通して、社会に広く貢献したいと考えています。この方針に基づき、次のような入学者を求めます。

1) 本学の建学の精神・教育目標、教育方針をよく理解するとともに、情報社会の進展の中で、より確かなデザイン力や高度な情報リテラシーを身につけることに意欲があり、これを修得するための基礎学力を有する人。【知識・技能】

2) デザインやものづくりに関心があり、自己のデザインや技能・技術によって社会へ貢献したいという意欲を持つ人。【思考・判断・表現】

3) 生活環境や社会を豊かにしたいという夢を持ち、他分野の人たちと協力してそれを実現する強い意思を持ち続けることができる人。【主体性・協働して学ぶ態度】

4) デザインをより深く理解し、生活や社会の中で創造的に活用していくことに向けて努力を続けることができる人。【知識・技能】

学部共通科目 デザイン学部						
区分	科目番号	科目名	1 主体	2 思考	3 知識1	4 知識2
学部 共通 科目	DX107	デザイン学概説	○	○		
	DX108	工学概説		○		○建
	DX109	美術史			○	○建
	DX110	デザイン史			○	○建
	DX111	デザイン心理学		○情		○
	DX112	経済学概論				○
	DX113	データサイエンス入門	○	○	○	
	DX301	メディア文化論		○情	○情	○
	DX302	ユニバーサルデザイン		○		○
	DX303	人間工学 I		○情		○
	DX304	映像メディア論		○情	○情	○
	DX308	人間工学 II			○情	○
	DX309	生活と環境		○情		○
	DX310	企業経営論				○
	DX311	北九州学				○
	DX313	イノベーションと経営				○
	DX501	インテリアデザイン		○情	○	○建
	DX502	景観デザイン	○建	○情	○建	○建
	DX503	空間デザイン		○情	○建	○建
	DX505	会計学入門				○
	DX507	ビジネスと経済				○
	DX901	地域志向インターンシップ*	○	○	○情	○
	DX902	企業実習	○	○	○情	○

建築学科			1	2	3	4
区分	科目番号	科目名	主体	思考	知識1	知識2
専門 教育 科目	DA101	造形演習	○			○
	DA102	建築製図			○	○
	DA104	建築デザイン基礎	○		○	
	DA105	建築構法デザイン			○	○
	DA106	住宅デザイン			○	○
	DA107	2D・CAD	○			○
	DA301	建築材料概説			○	○
	DA302	建築設計 I	○	○	○	
	DA303	建築力学 I			○	○
	DA304	建築史 I			○	○
	DA305	建築環境工学 I			○	○
	DA306	建築設計 II	○	○	○	
	DA307	建築施工 I			○	○
	DA308	建築力学 II			○	○
	DA309	建築計画 I			○	○
	DA310	建築史 II			○	○
	DA311	建築環境工学 II			○	○
	DA312	建築計画 II			○	○
	DA313	建築力学 I 演習			○	○
	DA314	建築力学 II 演習			○	○
	DA315	木質構造			○	○
	DA316	建築プレゼンテーション	○		○	○
	DA501	都市地域計画			○	○
	DA502	建築設計 III	○	○	○	
	DA503	建築設備 I			○	○
	DA504	鉄筋コンクリート構造 I			○	○
	DA505	鉄骨構造 I			○	○
	DA506	建築総合演習			○	○
	DA507	建築法規			○	○
	DA508	建築設備 II			○	○
	DA509	建築測量学演習			○	○
	DA510	建築施工 II			○	○
	DA511	建築力学 III			○	○
	DA512	建築力学 IV			○	○
	DA513	建築実験			○	○
	DA514	鉄筋コンクリート構造 II			○	○
DA515	鉄骨構造 II			○	○	
DA516	3D・CAD	○			○	
DA903	建築ゼミナール I	○	○	○	○	
DA904	建築ゼミナール II	○	○	○	○	
DA991	卒業研究 I	○	○	○	○	
DA992	卒業研究 II	○	○	○	○	
DA992	卒業研究 II	○	○	○	○	



情報デザイン学科			1	2	3	4
区分	科目番号	科目名	主体	思考	知識1	知識2
専門教育科目	DD101	情報デザイン概論	○	○	○	○
	DD104	コンピュータ概論				○
	DD107	C A D演習 I			○	
	DD114	写真・映像基礎		○	○	
	DD116	プログラミング I		○		○
	DD117	W e bデザイン I			○	○
	DD121	デジタル画像基礎	○		○	○
	DD123	グラフィックデザイン I	○		○	○
	DD124	基礎造形 [平面]	○		○	
	DD125	基礎造形 [立体]	○		○	
	DD302	ネットワークとセキュリティ				○
	DD308	C A D演習 II			○	
	DD323	プロダクトデザイン I		○		
	DD326	プログラミング II		○	○	○
	DD327	企画制作	○	○	○	○
	DD329	グラフィックデザイン II	○	○	○	○
	DD330	3 D C G演習 I	○		○	○
	DD331	3 D C G演習 II	○	○	○	○
	DD332	W e bデザイン II	○	○	○	○
	DD333	映像デザイン		○	○	
	DD334	情報デザイン演習 I	○	○	○	○
	DD335	プログラミング演習 I		○		○
	DD336	プログラミング演習 II	○	○	○	○
	DD502	データベース論				○
	DD506	マーケティング論		○		
	DD507	広告論	○	○	○	○
	DD518	プロダクトデザイン II		○	○	
	DD530	情報デザイン演習 II	○	○	○	○
	DD531	デザイン総合演習	○	○	○	○
	DD532	情報システム		○	○	○
	DD533	デザインプロジェクト I	○	○	○	○
	DD534	デザインプロジェクト II	○	○	○	○
	DD905	情報デザインゼミナール I	○	○	○	○
DD906	情報デザインゼミナール II	○	○	○	○	
DD991	卒業研究・デザイン I	○	○	○	○	
DD992	卒業研究・デザイン II	○	○	○	○	

## 教職科目（教職に関する科目）

### 教員養成のポリシー

- 専門科目と教職科目の有機的な連携を図りながら、工業大学としての特徴を十分に活かした高度の専門性を有する教員を養成する。
- 中学校から高校にかけての発達段階の異なる生徒に、分かりやすく知識や技術を伝え、その学びを支援する能力を有する教員を養成する。
- 教育者としての職業モラルを身につけ、社会人としての人間力形成能力やコミュニケーション能力、自己啓発能力を有する教員を養成する。

### ディプロマ・ポリシー

#### 1) 豊かな人間性と社会人基礎力

豊かな人間性に根ざした倫理観、幅広い教養、理論と実践を結びつける学習姿勢を身につけ、教育者としての使命感と責任感、適切な社会性や他者との協調性をもち、主体的に行動することができる。 【主体性・協働して学ぶ態度】

#### 2) 創意工夫力・問題解決力

現代の教育をめぐる多種多様な問題について理解し、情報技術・コミュニケーション力を備え、創意工夫しながら課題解決に取り組むことができる。 【思考・判断・表現】

#### 3) 専門的知識・技術の活用力

教科指導、生徒指導のための知識及び教科等に関する専門的知識を修得し、工業技術やデザインに関する知識・技能を教授することができる。 【知識・技能】

#### 4) 実務型技術者としての実践力

教育に関する理論及びそれを実践する基礎技能を身につけ、ものづくりやデザインに関わる人材の基礎教育を担うことにより地域社会や産業界に貢献することができる。 【知識・技能】

教職科目			1	2	3	4	
区分	科目番号	科目名	1 主体	2 思考	3 知識 1	4 知識 2	
【令和元（2019）年度 入学生から】							
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎理論に関する科目	CT101	教職概論	○			○
		CT102	教育学概論	○			○
		CT103	教育心理学	○			○
		CT301	教育制度学		○		○
		CT307	特別支援教育	○	○	○	
		CT501	教育課程論		○		○
	道徳、総合的な学習等の指導法及び生徒指導，教育相談及び進路指導等に関する科目	CT517	道徳教育の指導法	○	○	○	
		CT308	特別活動・総合的な学習の時間の指導法		○	○	
		CT105	教育の方法と技術		○	○	
		CT303	生徒・進路指導論	○	○	○	
		CT306	教育相談	○	○	○	
	教育実践に関する科目	CT511	教育実習Ⅰ	○	○	○	○
		CT512	教育実習Ⅱ	○	○	○	○
		CT513	教育実習指導	○	○	○	○
CT514		教育実践演習（中・高）	○	○	○	○	
科及び教科の指導法に関する科	各教科の指導法（数学）	CT502	数学科教育法Ⅰ		○	○	
		CT503	数学科教育法Ⅱ		○	○	
		CT504	数学科指導法Ⅰ		○	○	
		CT505	数学科指導法Ⅱ		○	○	
	各教科の指導法（数学）	CT506	工業科教育法Ⅰ		○	○	
		CT507	工業科教育法Ⅱ		○	○	
	各教科の指導法（数学）	CT508	情報科教育法Ⅰ		○	○	
		CT509	情報科教育法Ⅱ		○	○	
	職業指導（工業）	CT515	職業指導Ⅰ		○	○	
		CT516	職業指導Ⅱ		○	○	
情報と職業（情報）	CT305	情報と職業		○	○		

※ 教科及び教科の指導法に関する科目は、記載以外に、各教育課程表の一部科目が対象となっている。

【平成30（2018）年度までの 入学生】							
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	CT101	教職概論	○			○
	教育の基礎理論に関する科目	CT102	教育学概論	○			○
		CT103	教育心理学	○			○
		CT301	教育制度学		○		○
	教育課程及び指導法に関する科目	CT501	教育課程論		○		○
		CT502	数学科教育法Ⅰ		○	○	
		CT503	数学科教育法Ⅱ		○	○	
		CT504	数学科指導法Ⅰ		○	○	
		CT505	数学科指導法Ⅱ		○	○	
		CT506	工業科教育法Ⅰ		○	○	
		CT507	工業科教育法Ⅱ		○	○	
		CT508	情報科教育法Ⅰ		○	○	
		CT509	情報科教育法Ⅱ		○	○	
		CT510	道德教育の指導法	○	○	○	
		CT302	特別活動の研究		○	○	
	CT104	教育工学		○	○		
	生徒指導，教育相談及び進路指導に関する科目	CT303	生徒・進路指導論	○	○	○	
		CT306	教育相談	○	○	○	
	教育実習	CT511	教育実習Ⅰ	○	○	○	○
		CT512	教育実習Ⅱ	○	○	○	○
CT513		教育実習指導	○	○	○	○	
教育実践演習	CT514	教育実践演習（中・高）	○	○	○	○	
	CT515	職業指導Ⅰ		○	○		
	CT516	職業指導Ⅱ		○	○		
	CT305	情報と職業		○	○		

# 大学院 工学研究科

## 教育研究上の目的

工学生産系分野(生産システム分野)におけるエネルギー、制御、製造など、および自然・人間環境分野(環境システム分野)における制御、計画、デザインなどに関わる学術技術の理解と応用を教授研究し、幅広い技術システムへの対応能力を備え、地域の発展と文化・福祉に貢献できる有為な人材を育成することを目的とする。(大学院学則第2条および第6条)

## 人材養成像

幅広い社会的見識と工学系分野における柔軟な技術応用能力を育成し、課題の発見と対応・解決能力を備えた高度専門技術者、経営者、起業家を養成する。(大学院学則第2条の2)

### (1) 生産システム分野

エネルギー、制御、製造、設計などに関する高度な専門性を修得し、工学生産技術システムへの対応能力を備え、地域の発展と文化・福祉に貢献できる有為な人材を養成する。

### (2) 環境システム分野

制御、計画、デザイン、防災などに関わる高度な専門性を修得し、自然・人間環境技術システムへの対応能力を備え、地域の発展と文化・福祉に貢献できる有為な人材を養成する。

## ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

所定のカリキュラムを履修し、次の資質・能力を身につけると共に、必要な単位を修めた学生に修士(工学)の学位を授与する。

### 1) 豊かな人間性と社会人基礎力

幅広い社会的見識と豊かな人間性を兼ね備えた高度専門技術者として、人間と地域や自然との関わりおよび生産技術あるいは環境技術の役割と位置づけを幅広く理解し、将来を洞察し、経営的判断力を身につけマネジメントすることができる。【主体性・協働して】

### 2) 創意工夫力・問題解決力

創意工夫をしながら自己の研鑽を日々行う高度技術者として、キャリアアップに関して必要な事柄・目標を自ら設定し、物事を計画的に進めるとともに、創意工夫を凝らした課題解決法を考案し実行することができる。【思考・判断・表現】

### 3) 専門的知識・技術の活用力

生産技術あるいは環境技術に関する専門的な知識を有する高度技術者として、数理科学、経営工学、3D技術、またはデザイン学に関する専門力を習得して自らの研究に応用し、生産システム分野あるいは環境システム分野における専門力を備え、最新の技術動向を収集・蓄積し、それを利用、実践して課題解決を図ることができる。【知識・技能】

### 4) 実務型技術者としての実践力

生産システム分野あるいは環境システム分野における実務能力、ICT活用力、表現力に富む高度技術者として、各分野における実務能力を備え、課題の解決に活用することができる。さらに、ICTに関わる先進的な技術力を習得し、課題の解決に活用し自らの研究に応用できるとともに、自己の考えを的確に表現できる。【知識・技能】

## カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

カリキュラムを以下の方針に基づいて編成する。

### 1) 分野共通科目

幅広い社会的見識と倫理観および豊かな人間性を兼ね備えた高度専門技術者を育成するために、人文系・社会系・経営工学系科目を含む共通科目群を配置する。【思考・判断・表現】【知識・技能】

### 2) 社会人基礎力養成科目

生産システム分野あるいは環境システム分野における実務能力、ICT活用力、表現力に富む高度技術者を育成するために、演習科目群およびインターンシップ科目群を配置する。【主体性・協働して学ぶ態度】

### 3) 専門総合教育科目

創意工夫をしながら自己の研鑽を日々行う高度技術者を育成するために、主に1年次に専門基礎科目群を配置する。さらに、高度専門技術者としての思考力・判断力・表現力を養うために通年で生産・環境システム特別研究を配置する。

【思考・判断・表現】

### 4) 専門教育科目

生産技術あるいは環境技術に関する専門的な知識を有する高度技術者を育成するために必要な専門応用科目群を各年次に配置する。【知識・技能】

## アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

本学の建学の理念および大学院の理念・目的を理解し、機械工学、電気・電子・情報工学の生産システム分野あるいは土木工学、建築学、情報デザイン環境システム分野のいずれかの研究領域に必要な基礎知識を有し、高い関心と研究意欲を持つ次のような入学者を求めらる。

- 1) 大学院における教育研究にふさわしい専門学力と一般教養を有する人。 【知識・技能】
- 2) 責任感、協調性と豊かな感性があり、幅広い社会的見識と工学分野における柔軟な技術応用能力の修得を目指す人。また、この分野における生産技術や環境技術に関連する技術者または経営者を目指し、プロジェクト活動や地域活動などに積極的に参加する意欲を持つ人。 【思考・判断・表現】
- 3) 生産技術と社会・地域との関わり、または環境技術と自然・地域との関わりを総合的に考えることができる高度技術者を目指している人、および研究力を高め、創意工夫力を向上させるための努力を続けることができる人。 【主体性・協働して学ぶ態度】
- 4) 生産システム分野あるいは環境システム分野における実務能力、ICT活用力、表現力を向上させるための努力を続けることができる人。 【知識・技能】

大学院工学研究科(生産・環境システム専攻)						
区分		科目名	1	2	3	4
			主体	思考	知識1	知識2
共通科目	MC101	技術経営論	○		○	○
	MC103	知的財産戦略論	○			
	MC111	情報工学特論				○
	MC106	環境経済学論	○			
	MC109	社会心理学特論	○			
	MC110	経営英語特論	○			
	MC501	生産・環境システム特別研究			○	○
生産システム分野専門科目	MS102	流体工学特論			○	
	MS104	制御工学特論			○	
	MS106	電気応用工学特論			○	
	MS108	電子デバイス特論			○	
	MS109	情報通信工学特論			○	
	MS111	電気エネルギー工学特論			○	
	MS112	生産システム特別講義	○	○		○
	MS113	生産システム特別実習		○		○
	MS116	エネルギー変換工学特論			○	
	MS117	放電プラズマ工学特論			○	
	MS118	データサイエンス特論			○	
	MS119	材料工学特論			○	
	MS120	成形加工特論			○	
	MS121	材料電子化学特論			○	
	MS122	溶接・接合特論			○	
	MS123	信号処理特論			○	
	MS124	ロボット機構学特論			○	
	MS302	半導体回路設計特論			○	
	MS501	生産システム演習		○	○	○
環境システム分野専門科目	ME101	地域環境工学特論	○		○	
	ME102	地域環境情報システム論	○		○	
	ME103	地盤工学特論			○	
	ME105	交通システム工学特論			○	
	ME108	空間デザイン史特論			○	
	ME109	学外構造系インターンシップ			○	○
	ME112	情報数学特論			○	
	ME116	環境システム特別講義	○	○		○
	ME117	環境システム特別実習		○		○
	ME121	アーゴノミクス特論			○	
	ME122	環境影響評価特論			○	
	ME123	耐震工学特論			○	
	ME124	建築計画特論			○	
	ME125	空間設計論			○	
	ME126	住環境デザイン論			○	
	ME127	鉄骨構造工学特論			○	
	ME128	鉄筋コンクリート構造工学特論			○	
	ME129	視覚伝達デザイン特論			○	
	ME130	メディアデザイン特論			○	
	ME301	都市環境マネージメント論			○	
	ME308	木質構造工学特論			○	
	ME309	建築材料工学特論			○	
	ME305	学外プロジェクト型インターンシップ I		○	○	○
ME306	学内プロジェクト型インターンシップ I		○	○	○	
ME307	情報デザイン特論			○		

区分	科目名	主体	思考	知識1	知識2
	ME501 環境システム演習		○	○	○
	ME502 学外プロジェクト型インターンシップⅡ		○	○	○
	ME503 学内プロジェクト型インターンシップⅡ		○	○	○